

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 久田松春樹SAA委員 ◆四つのテスト 劉 済昌会員 ◆ご来訪ロータリアン 台北幸福RC 謝冠園さん

◆会長挨拶 柳龍一郎会長



みなさん、こんにちは。本日の来訪ロータリアンは台北幸福ロータリークラブの謝冠園会長です。事務局から会長来崎の連絡をもらった時、西クラブで英会話ができるのはどなたですか？と慌てたのですが、謝会長は元米山奨学生で、日本語は堪能でいらっしゃる事で安心しました。この後ご挨拶頂きたいと思います。さて、昨晩は本年度2回目の西会でした。許斐ロータリー情報委員長有難うございました。会員相互の親睦と勉強会を目的とする会として、「クラブ討論会」「炉辺談話・家庭集会」「60%ルール」についてお話を頂きました。中でも私が興味を持ったのが「炉辺談話Fire-Side Meeting」という言葉でした。炉辺という言葉に歴史を感じ、ネットでこの四文字を調べてみますと、ロータリーとは別なのですが、かのフランクリン・デラノ・ルーズベルトが1930年代前半ラジオを通じて行った演説の話に辿り着きました。暖炉の近くに座った聞き手に、語りかけるかのようなラジオ談話はFire-Side Chatsの名前で親しまれるようになったとか。1920年代に生まれたラジオを肉声が伝わる情報発信ツールとして上手に使い、恐慌等舵取りの難しい時代において大統領に四選された事は、現代社会に措いても参考になる事だと思えます。さて、私にとってFire-Sideは囲炉裏端を想像してしまいます。ロータリー、、、囲炉裏端、、、確かあったような、と思い出しておりました。そうでした、入会早々、配属先の親睦委員会の日高委員長が炉端居酒屋に若手会員を招いて勉強会と親睦会を開催して下さいました。その節は有難うございました。このようなところも私達が引き継いでいかなければならないと思います。又、昨日の資料の出展にロータリーの源流・田中毅PDGとあります。こちらも興味があり調べてみました。2680地区、尼崎西ロータリーの方です。ロータリアンに正

しい奉仕理念を理解してもらうための情報伝達媒体として1995年から個人サイト「ロータリーの源流」を開設され、ZOOM等リニューアルされながら現在の会員登録なんと58万名となっています。アーサー・フレデリック・シェルドンの偉業に敬意を払い、奉仕理念を未来に繋げる事の重要性を説いていらっしゃると思います。因みにこの方も「炉辺」という言葉をよくお使いの様です。ネット等を駆使する手法はルーズベルトと似ていると思います。会長職として各種セミナー等参加しますが、ロータリアンとしてこの様に強烈な熱意を持った方のお話を聞く機会が多くあります。また今日のように海外からの来訪ロータリアンにご挨拶出来る事、日々発見で刺激になります。今日は会員卓話です。中西委員長のお話が楽しみです。本日も宜しくお願い致します。

◆台北幸福RC 謝冠園会長ご来訪挨拶



台北幸福ロータリークラブ 会長 謝冠園さん

皆様こんにちは。ご紹介にあずかりました謝冠園と申します。再び日本を訪れ今回は長崎県のクラブを訪問することが出来、今日ここでクラブの皆様にお会いできたことを光栄に思っております。1998年私は、東京大学博士課程で地球惑星物理科学を専攻していました。在学中に米山奨学金を受け、日本のロータリアンの皆様にお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。またいつか日本に最高のものをお返ししたいと思っております。私は台湾に帰国してから、原子力高レベル放射性廃棄物最終処分地質調査の研究に取り組んでおります。日本の歴史や日本人の誠実さ、優しさをより多くの台湾人に知ってもらい、日台間の親善に貢献したいと考えております。

◆期首会員数	35名	◆入会者	1名	◆退会者	0名	◆現在	36名
◆10/25例会出席	24名	◆免除者出席	10名	◆欠席	12名	◆出席率	68.57%

◆幹事報告

山田孝二幹事

①例会変更並びに休会のお知らせ

【変更】長崎みなとRC 11/15(火)18時30分～サンプリエール
長崎西RCとの合同例会のため

長崎中央RC 11/7(月)18時30分～THE GLOBAL VIEW長崎
塚崎直前ガバナー・岡田前地区幹事慰労会のため

【休会】長崎中央RC 11/21(月) 長崎みなとRC11/22(火)
長崎西RC11/1(火)定款第7条第1節により休会

②第1回9.10グループ会長幹事会報告

IMについて 開催日/2/19(日) 会場/出島メッセ長崎
懇親会会場/ホテルニュー長崎 会費/8000円

◆委員会報告

許斐義彦ロータリー情報委員長



10/24(月) ホテルニュー長崎において、西会が17名の参加で
開催されました。今回は森会員と富山会員の歓迎会も兼ねて
の西会でしたが、森会員が欠席のため、富山会員のみの歓
迎会となりました。勉強会では初歩的な「クラブフォーラム」
「炉辺会」「60%ルール」の話をさせていただきました。

◆結婚・誕生・入会祝い 10/23～10/30

【結婚祝】 水本由幸さん



◆会員卓話



中西祥之会員

「刑事事件
よもやま話」



◆長崎金星観測地 金比羅山 許斐義彦 知る人ぞ知る金比羅山にある貴重な日本天文遺産

明治7年(1874年)、12月9日「金星の太陽面通過」(太陽と金星、地球が一直線に並び、地球からは金星が太陽の表面を横切るようにみえる現象)を天文学者はやく一世紀まっていた。目的は太陽と地球の距離を求める事。17世紀から何度も挑んで、1874年(明治7年)が4度目のチャンスとのことで、観測できる東南アジアに欧米の天文学者が集結し、日本では神戸市、横浜市、長崎市が選ばれた。長崎市にはフランスの観測隊が金比羅山、アメリカ観測隊が星取山で観測した。星取山のアメリカ観測隊には記念碑はない。金比羅山のフランス観測隊の記念碑はフランス語で「惑星、金星通過を観測したのは、この位置においてである」とフランス語でぎざぎざに読めない、汚れて読めない。因みに、金星の太陽面通過が起こるのは100年で2回。最近では10年前にあったので、次回観測できるのは、2117年。



石碑の上の方に丸い円と
「Venus」と文字が刻まれている



明治7年(1874)金星観測の最遠地として日本が選ばれ、フランス、アメリカ、メキシコなどから観測隊が来日し、横浜、神戸、東京、長崎で観測が行われた。フランスの天文学者ジャンサン氏一行6名は、金比羅山に観測地点を設け、明治7年12月9日、太陽面を通過する金星の観測に成功した。この碑は、観測に成功したことを記念するために、ジャンサン氏の願いにより建てられたものである。また、平成5年(1993)この記念碑から東に24mの地点で、観測台が発見された。この観測台は、この地で金星観測が行われたことを示す貴重な遺構であり、また、日本最初の経緯度原点(チトマン点)の位置を推定する手掛かりとなるもので、測地学史上からも重要な意義を持つものとして、平成7年3月16日県の史跡に追加指定された。
・長崎市教育委員会



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	10/25	38,000円	累計	308,538円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	10/25	6,000円	累計	89,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	10/25	14,000円	累計	86,000円

◆会長 柳 龍一郎 幹事 山田孝二

◆事務局連絡先: Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520

◆例会: 【火】12時30分～13時30分

◆作成:公共イメージPプロジェクト委員会/クラブ会報委員会

◆創立:昭和59年10月2日 ◆事務局住所:長崎市東古川町4-16 フジビル202

◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp

◆例会場:ホテルニュー長崎 Tel:095-826-8000

◆委員長:山崎雅之

◆編集:事務局 中田久美子